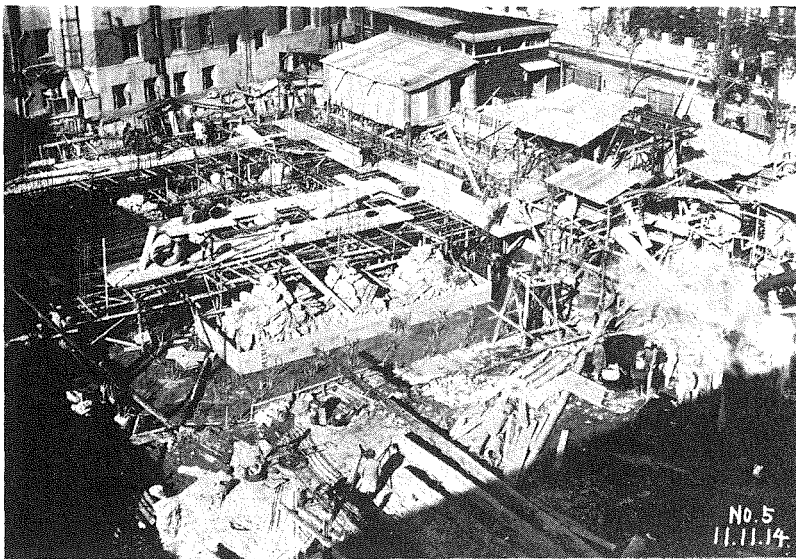
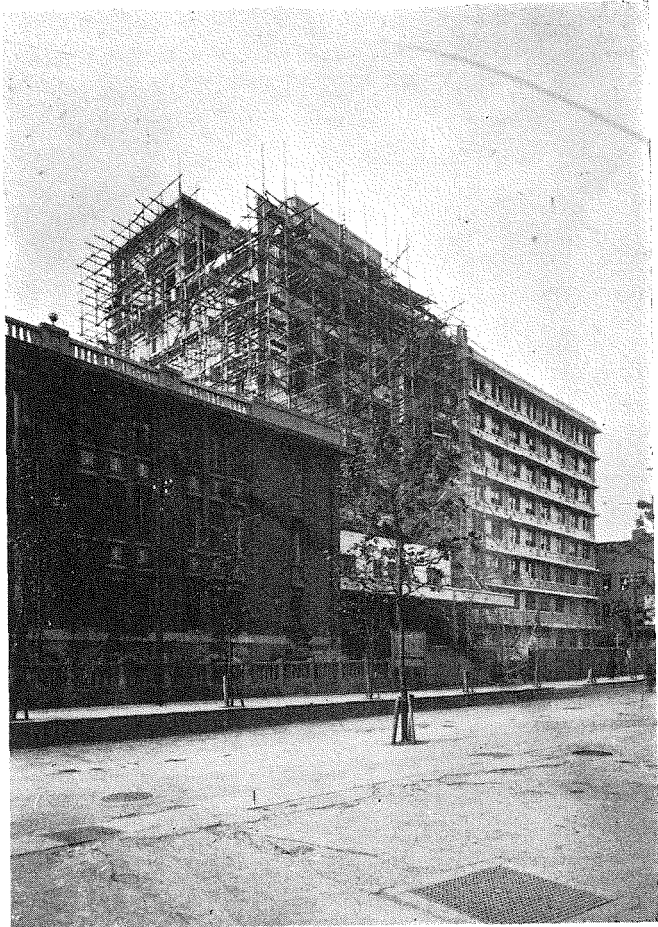


大阪帝國大學 附屬病院 建築工事

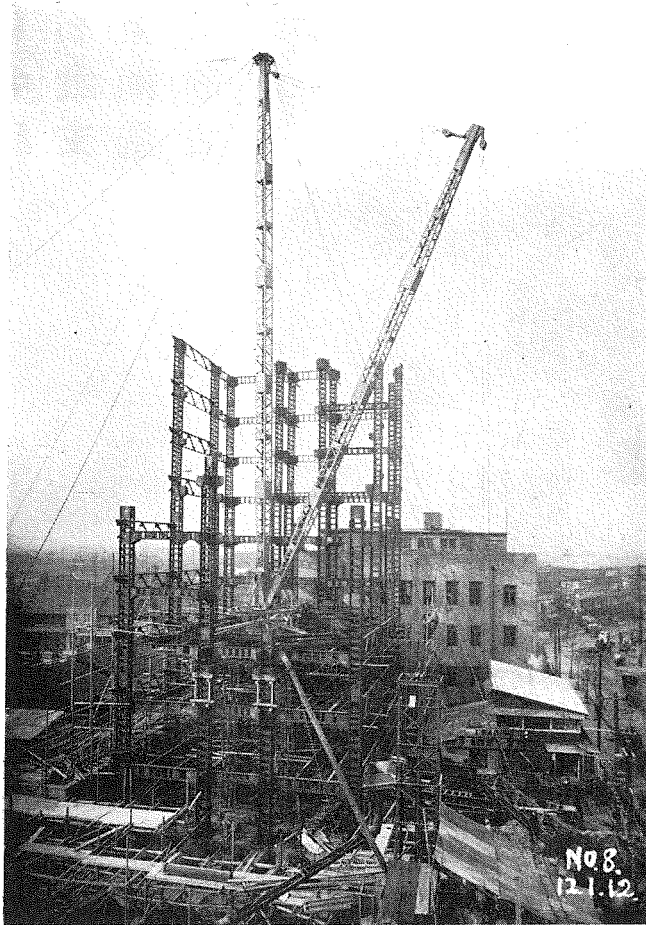
設計・大阪帝國大學營繕課
施工・大倉土木株式會社

大阪帝國大學附屬病院では患者の收容難緩和と近代醫學の進歩に順應する設備を整へるため總工費千數百萬圓を投じ、30個年計畫を以て病棟の大改築を企て、第一期工事として昭和11年4月より整形外科館を建築中であつたが、工事漸く竣功に近づき、舊冬12月1日外部足場を取

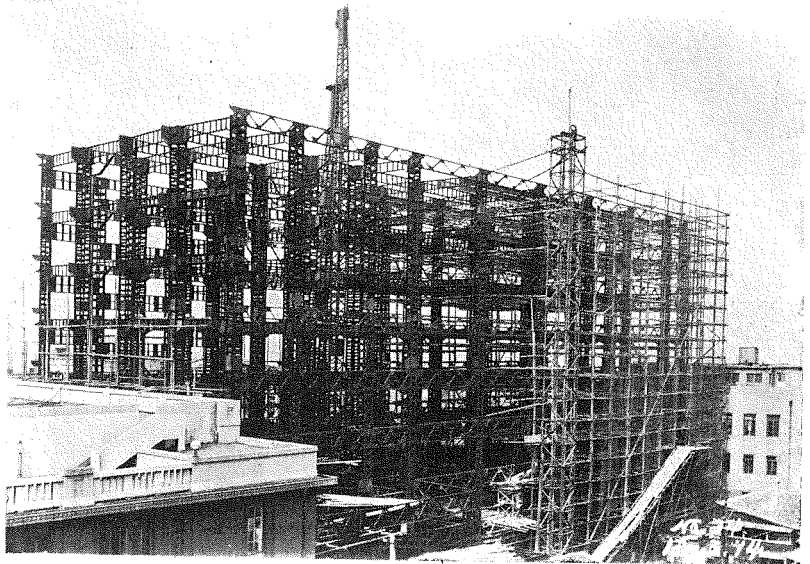


(1) 竣功近き整形外科館全景。

(2) 基礎工事大
洋式ベデス
タル杭施工
中。



(3) 鐵骨組立中の整形外科館。



(4) 鐵骨組立を終りし全景

外し、目下附帯設備の工事を進めつゝあり、近く開館の運びを見るに至つた。

この整形外科館は病院本館と北側の附屬竹尾結核研究所との中間空地に建設されたもので、鐵骨鐵筋コンクリート造、地下1階地上8階延2,631坪の高層建築である。病院としては東京の聖路加病院地上7階を凌いで其高さ地上100尺、まさに日本一の豪華な高層病院である。

設備も近代科學の粹を蒐め、特等、1,2,3等病室、05ベッドを持ち、特等室には各室に浴槽を1等室にも附添者のベッドを備へ、又各室にガス、水道等の炊事設備を施し完璧を期してゐる。

工事(第一期)費は770,000圓で大倉土木の請負に係り、基礎は大洋式ベデスタル杭。